

道路や河川の維持管理

道 路

道路を常に安全で快適に通行していただくために、次のような業務を行っています。

- ①道路のパトロール
- ②損傷した路面や側溝等の補修
- ③橋梁、照明、標識等の点検・補修
- ④路面の清掃
- ⑤路肩等の草刈りや街路樹の剪定
- ⑥積雪時の除雪や路面凍結防止対策



河 川

洪水等に備え、河川の正常な機能を維持するとともに、県民の憩いの場として安全で快適に利用していただくために、次のような業務を行っています。

- ①河川のパトロール
- ②損傷した堤防の補修
- ③護岸、床固め等の構造物の点検・補修
- ④堤防等の草刈りや清掃
- ⑤油流入等による異常水質事故の対応



許認可事務

》01 道路法

1 道路占用許可

道路を使用(占用)する場合には、許可が必要となります。

2 道路工事施行承認

道路の法面埋立て、歩道切り下げ等による車両乗入口の設置、取付け道の設置等、県が管理する道路と関係する工事を行う場合には、承認が必要となります。

》02 河川法

河川区域内において土地を使用(占用)したり制限行為(盛土、切土等)を行う場合や、河川保全区域内において制限行為を行う場合には、許可が必要となります。

》03 砂防法等

次の区域内で制限行為(盛土、切土等)を行う場合には、各法律に基づく許可が必要となります。

- ①砂防指定地(砂防法)
- ②急傾斜地崩壊危険区域(急傾斜地法)
- ③地すべり防止区域(地すべり等防止法)

》04 土砂災害防止法

土砂災害特別警戒区域内で特定の開発行為を行う場合には、許可が必要となります。



》05 都市計画法

都市計画施設の区域又は市街地開発事業の施行区域内において、建築物を建築しようとする場合は、都市計画法第53条に基づく許可等が必要となります。

壬生町、野木町の都市計画法第53条の申請・届出の審査は土木事務所で行います。
申請・届出の受付窓口は以下のとおりです。

所管町	受付窓口
壬生町	壬生町 都市計画課 都市計画係
野木町	野木町 都市整備課 都市開発係

※栃木市、小山市、下野市の申請・届出の受付窓口及び審査は市で行います。

》06 建設業法(経理担当)

建設業を営むには、軽微な建設工事を除き、許可が必要となります。

届出関係事務

》01 建設リサイクル法(公共工事)

下野市、壬生町、野木町における右表の対象建設工事については、分別解体及び再資源化等が義務付けられています。

工事着手7日前までに届出が必要です

工事の種類	規模の基準(m)
建築物の解体	80㎡以上
建築物の新築・増築	500㎡以上
建築物の修繕・模様替(リフォーム等)	1億円以上
建築物以外のものの解体・新築等(土木工事等)	500万円以上

》02 栃木県景観条例

壬生町、野木町における次のような行為は、栃木県景観条例に基づく届出が必要です。

※受付窓口は各町

- 一定基準を超える高さや建築面積の建築物
- 一定基準を超える高さや築造面積の工作物
- 一定基準を超える面積の開発行為

危機管理・防災ポータルサイト

●防災に関する普段からの対策や備え、県の施策や各種計画などが調べられるほか、最寄りの避難所検索もできる栃木県の防災総合ページです。
<https://www.pref.tochigi.lg.jp/kurashi/bousai/index.html>



同サイト内の「リアルタイム情報」

●以下の情報が調べられます。
・気象情報、地震情報、大雨・洪水・土砂災害危険度分布(キキクル)、河川水位情報(河川水位情報・洪水予報・河川ライブカメラ)、道路交通情報 など
<https://www.pref.tochigi.lg.jp/kurashi/bousai/realtime/index.html>



●県土整備部の仕事や技術情報について多くの方に興味を持っていただくため、SNSにより様々な情報を配信しています



YouTube (栃木県県土ちゃんねる)



X (旧Twitter) (栃木県県土整備部)



栃木県栃木土木事務所

〒328-8504 栃木県栃木市神田町6-6

TEL0282-23-3433 FAX0282-23-3544

小山詰所

〒323-0811 栃木県小山市犬塚3-1-1

TEL0285-22-0272 FAX0285-22-4147

最新の情報はインターネットで

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/h55/index.html>



城山公園 (小山市)



令和7(2025)年度 Tochigi Civil Engineering Office Guide

栃木土木事務所ガイド



とちまるくん
とちぎどほくver.



栃木市・渡良瀬バルーンレース (栃木市)



石橋複合施設 (下野市)



獨協医科大学並木道 (壬生町)



日東工業エニホール (野木町)

とちぎの未来を築く
県土づくりを進めます

当事務所は、群馬県、埼玉県、茨城県と県境を接する栃木県南部に位置し、栃木市、小山市、下野市、壬生町、野木町の3市2町の区域を管轄しています。

管内の面積は約669km²で県全体の約10%、人口は約44万人で約23%を占めています。

地形は、北西部の一部が山間・丘陵地ですが、他は概ね平地となっており、南西部には、首都圏の洪水対策を目的とする渡良瀬遊水地があります。なお、この遊水地は平成24年7月にラムサール条約に登録されています。

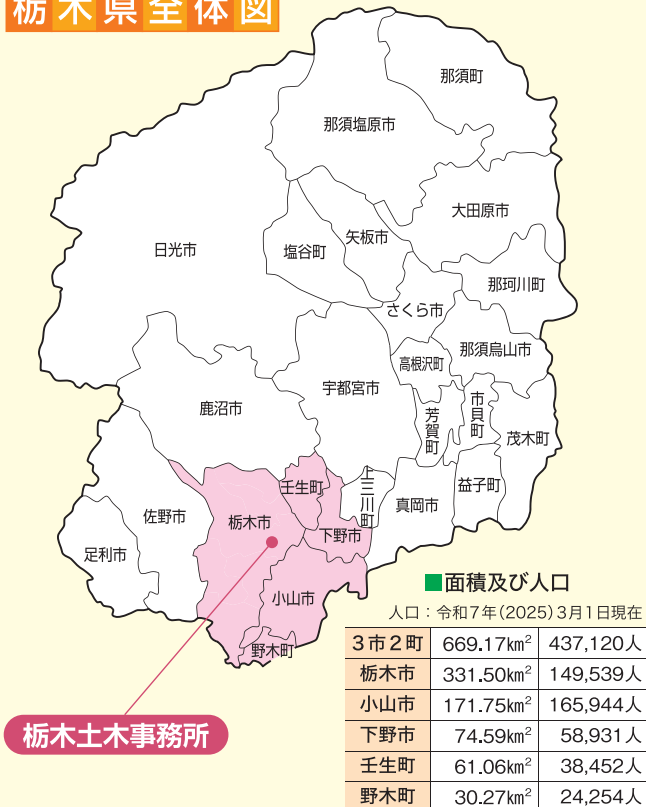
管内の交通網は、鉄道は、南北にＪＲ東北新幹線、宇都宮線、東武日光線、宇都宮線、東西にはＪＲ両毛線、水戸線が通り、小山駅や栃木駅を中継点として、東京方面や茨城県、群馬県から県内各地、さらには東北方面とを結んでいます。

また、道路は、南北に走る東北自動車道、国道4号、新4号国道と、東西に走る北関東自動車道、国道50号が管内で交差しており、当事務所では、それらの広域幹線道路網を補完する道路として、国道3路線を含む72路線、約500kmのネットワークを管理しています。

河川は、利根川水系に属する国の直轄管理河川が鬼怒川など5河川あり、当事務所では、それらの直轄河川に接続する思川、巴波川、永野川など23河川、約200kmを管理しています。

砂防指定地には、渡良瀬川流域97箇所が指定されており、急傾斜地崩壊危険区域には18箇所が指定されています。

都市計画の状況は、管内全域が都市計画区域で県全体の約15%、市街化区域は約90km²で県全体の約30%を占めています。



栃木県に占める割合

区 分		栃木県 (A)	事務所管内 (B)	B/A (%)	備考 (調査年月日)
面 積		6,408.09km ²	669.17km ²	10.4	令和6(2024)年10月1日
人 口		1,876,308人	437,120人	23.3	令和7(2025)年3月1日
市 町 村 数		25市町	5市町	20.0	令和7(2025)年4月1日
県 管 理 国 道	路 線 数	12路線	3路線	25.0	令和6(2024)年4月1日
	延 長	696,707m	28,965m	4.2	〃
	舗 装 率	99.6%	100.0%	—	〃
	改 良 率	98.8%	100.0%	—	〃
県 道	路 線 数※	291路線	69路線	23.7	〃
	延 長※	2,829,635m	463,863m	16.4	〃
	舗 装 率※	96.7%	99.7%	—	〃
	改 良 率※	88.9%	92.2%	—	〃
	自転車道路線数	3路線	2路線	66.7	〃
	自転車道延長	53,463m	9,232m	17.3	〃
	県管理国道及び県道における橋梁数	2,813橋	347橋	12.3	〃
県管理一級河川	河 川 数	292河川	23河川	7.9	令和7(2025)年4月1日
	延 長	2,474.82km	202.80km	8.2	〃
砂 防 指 定 地	箇 所 数	1,604箇所	97箇所	6.0	〃
	面 積	7,246.34ha	338.73ha	4.7	〃
急傾斜地崩壊危険区域	箇 所 数	286箇所	18箇所	6.3	〃
	面 積	397.52ha	29.82ha	7.5	〃
地すべり防止区域	箇 所 数	20箇所	1箇所	5.0	〃
	面 積	313.39ha	5.68ha	1.8	〃
県 営 住 宅 数		7,130戸	1,095戸	15.4	〃
都市計画区域		413,344ha	63,717ha	15.4	令和6(2024)年4月1日
市 街 化 区 域		30,165ha	9,072ha	30.1	〃
用 途 地 域		38,919ha	9,213ha	23.7	〃

※公社管理を除く

〓 栃木土木事務所の基本方針

基本姿勢

姿勢
1

地域活性化・危機管理の拠点としての機能強化

- 地域の要望に対する的確な対応と管内市町との連携強化を図ります。
- 地域の守り手となる建設業界との連携強化を図ります。
- 異常気象時等における関係機関との連携強化を図ります。

姿勢
2

社会インフラの整備・管理の推進

- 暮らしや産業・観光を支え、災害に強い強靱な道路ネットワークの構築に努めます。
- 自然災害から県民の命と暮らしを守る安全安心な社会の構築に努めます。
- 令和元年東日本台風災害からの迅速な改良復旧に努めます。

姿勢
3

労働生産性を高める働き方改革の推進

- DXやテレワークの推進に取り組み、高効率かつ柔軟な働き方の推進に努めます。

重点的に取り組む事業

事業
1

安全・安心な基盤づくり

- 河川改修、土砂災害防止施設の整備を実施します。
- 緊急輸送道路・道路冠水箇所の整備・保全、河川・砂防施設の堆積土除去・急傾斜地対策を実施します。
- 通学路の歩道整備、事故危険箇所対策を実施します。
- 道路・河川・砂防施設の点検・診断・評価を定期的 to 実施し、長寿命化対策に向けた計画的な修繕・更新を実施します。

事業
2

成長・発展を支えるネットワークづくり

産業・経済の成長を支える活発な人と物の流れをつくるため、幹線道路網の整備推進や、スマートIC整備に向けた支援を実施します。

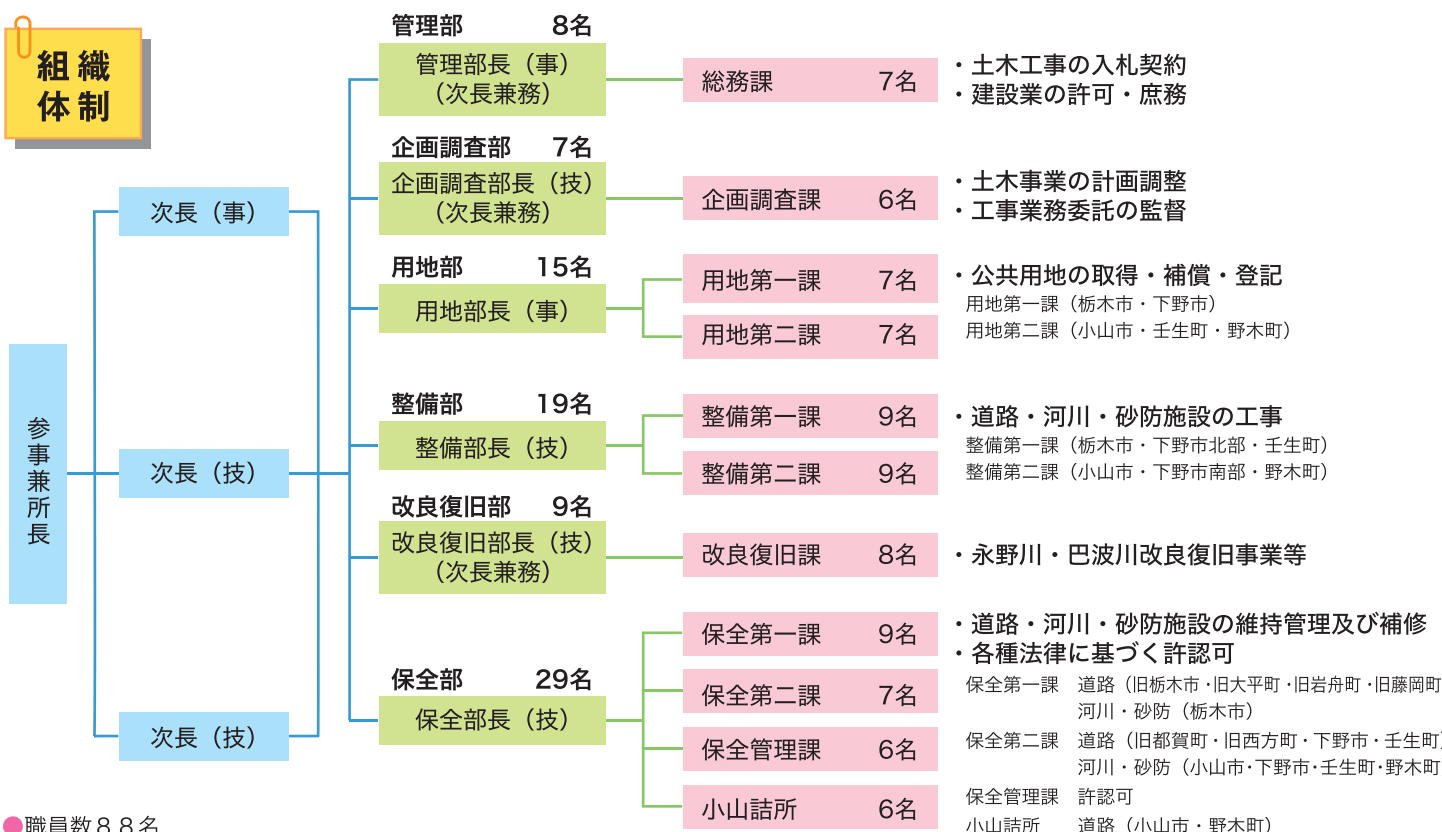
事業
3

魅力的で活力あふれる地域づくり

地域の魅力を高める「景観づくり」を推進するため、無電柱化や多自然川づくりを実施します。



組織体制



- 職員数 88 名
(市町からの派遣職員 6 名を含む)
- その他の職員数 16 名
(用地事務支援員 2 名、道路河川監

令和7(2025)年4月1日現在

令和7(2025)年度の
主な道路事業

栃木土木事務所管内図



1 都市計画道路
3・3・3号 小山市栃木都賀線

●全体計画/延長=7,200m 幅員=25.0～33.0m
事業費=93億円

小山市から栃木市街地の東部を経由し北関東自動車道都賀ICを結ぶ、栃木西部都市連絡幹線の一部を構成する道路の新設事業です。
今年度は、栃木市今泉町及び小山市卒島地区の用地取得及び工事を推進します。



2 主要地方道
羽生田上蒲生線

●全体計画/延長=580m 幅員=8.0m
事業費=5億円

NEXCO東日本と下野市が整備を進めている「北関東自動車道(仮称)下野スマートIC」事業の関連事業として、主要地方道羽生田上蒲生線を一体的に整備することにより、スマートICへのアクセス性向上と、当該路線の安全で信頼の高い輸送道路の確立を目的としています。
今年度は、NEXCO東日本と工程調整を図りながら、工事を推進します。



3 主要地方道
小山坡状線

●全体計画/延長=760m 幅員=17.5～35.5m
事業費=100億円

主要地方道小山坡状線は、小山市街地の環状道路です。本事業では、小山市を縦断するJR宇都宮線の踏切を解消するため、アングラーパスを整備します。これにより、小山市全体の交通利便性向上、小山市西部と二次救急医療機関である新小山市民病院へのアクセス性向上を図り、平常時・災害時を問わず、安全で信頼性の高い道路ネットワークが確保されることを目的としています。
今年度は、用地取得及び設計を推進します。



4 一般県道
境間々田線

●全体計画/延長=2,400m 幅員=15.0～16.0m
事業費=15億円※県整備区間

一般県道境間々田線は、野木町と小山市の市街地を結ぶ幹線道路であり、小山市が定める築宮大規模産業団地への一次アクセス道路です。本事業では、新たに同市町の中心市街地を結ぶ道路を整備することから、更なる交通の利便性向上を図るとともに、並行している国道4号の渋滞緩和を目的としています。
今年度は、用地取得及び工事を推進します。



5 主要地方道
栃木二宮線

●全体計画/延長=3,600m 幅員=15.5m
事業費=27億円

主要地方道栃木二宮線は、栃木市と真岡市を結ぶ幹線道路であり、交通量が非常に多い路線です。しかし、現道幅員が狭小で屈曲しており見通しが悪く、歩道も未整備であることから、本事業では、新たなバイパス道路を整備することにより、道路を利用するすべての方が安全・安心で快適な交通確保ができることを目的としています。
今年度は、用地取得及び工事を推進します。



6 都市計画道路
3・3・901号
おもちやのまち下古山線

●全体計画/延長=2,600m 幅員=22.0～25.0m
事業費=75億円

壬生町、下野市間を繋ぐ東西交通の軸となる幹線道路です。おもちやのまち駅前線周辺から下野市下古山地帯内平成橋周辺における渋滞緩和と歩行者、自転車の安全な通行空間を確保するため、道路の拡幅整備を進めています。
今年度は、用地取得及び工事を推進します。



8 一般県道
東野田古河線

●全体計画/延長=1,100m 幅員=10.25～12.5m
事業費=9億円

一般県道東野田古河線は小山市と古河市を結ぶ幹線道路です。当該箇所は交通量が多く、第二次緊急医療に指定された友愛記念病院へのアクセス道路であることから、地域住民の安全と円滑な交通の確保が求められています。
今年度は、用地取得及び工事を推進します。



令和7(2025)年度の主な河川・砂防事業

9 一般河川
杣井木川

●全体計画/排水機場・調節池
事業費=33億円

一般河川3河川(巴波川、永野川、杣井木川)が合流する当該地区は、近年浸水被害が多発しています。本事業は、浸水被害軽減を目的とし、排水機場増強及び調節池整備を進め、令和5年度には排水機場の運用を開始しました。
今年度は、調節池の用地取得を推進します。



10 一般河川
思川

●全体計画/河道掘削量=約60万m³
事業費=40億円

一般河川思川は流域延長7.8km、流域面積883km²の県内屈指の大河川で、治水においても極めて重要な河川です。本事業では、昭和26年より河川改修事業を推進しており、流下能力の向上を目的に河道掘削を行っています。
今年度は、引き続き河道掘削を推進します。



11 一般河川
永野川

●全体計画/延長=10,600m
事業費=269億円

令和元年東日本台風等の出水により被災した一般河川永野川では、再度災害防止を図るため、栃木市大平町から皆川城内町の区間において、改良復旧工事に着手しています。
今年度は、河道掘削、護岸工事、橋梁架替、堰改築及び用地取得を推進します。



12 一般河川
巴波川

●全体計画/・地下排水路 延長=2,400m 事業費=178億円
・上流部 延長=1,600m 事業費=38億円
・下流部 延長=9,200m 事業費=22億円

令和元年東日本台風等の出水により甚大な浸水被害が発生した一般河川巴波川では、栃木市中心市街地において地下排水路(地下トンネル河川)整備、上流部(大田区工区)において護岸・遊水地整備、下流部(国道50号～平成橋)では河川整備事業を進めています。
今年度、地下排水路整備事業ではワールド工事、上流部では用地取得、下流部では河道掘削工事を進めます。



13 砂防堰堤
六角堂一号沢

●砂防堰堤工事
延長=55.3m 事業費=2億円

六角堂一号沢は、栃木市平井町に位置する流域面積0.054km²の土石流危険渓流であり、栃木市想定区域には(一)太平公園緑地、国学院大学栃木学園、人家96戸、連拝院六角堂、信仰寺などがあります。渓流内には不安定な土砂が堆積し豪雨等により下流に流出するおそれがあることから、砂防堰堤事業を進めています。今年度は、用地取得及び管理用通路の一部工事を推進します。



14 都市計画道路
3・3・3号 小山市栃木都賀線

●全体計画/延長=1,200m 幅員=38.0m、28.0m
事業費=36億円

本事業は、平成26年度から事業に着手し、栃木市東部の骨格を形成するバイパス整備を進めてきました。本バイパスの開通により、通過交通減少による市内中心部の渋滞緩和や、インターチェンジへのアクセス性向上による広域的な地域間の交流・連携の促進が図られるとともに、自転車・歩行者の安全な通行空間が確保されます。



15 一般河川
思川

●全体計画/延長=730m
事業費=2.7億円

一般河川思川の飯塚地区は、一部において無堤の区間があり、また、堤防高さも不足している区間があったことから、令和元年度から豪雨時の外水氾濫による浸水被害の低減を目的に、堤防強化による浸水被害の低減を進めてまいりました。



16 砂防堰堤
西耕地一号沢

●砂防堰堤工事/延長=52.9m
事業費=2億円

西耕地一号沢は、栃木市岩舟町小野寺に位置する流域面積0.025km²の土石流危険渓流であり、被害想定区域には人家、公民館、主要地方道栃木佐野線があり、豪雨出水時には人家等への被害が甚大になると考えられるため、砂防堰堤を整備しました。



令和6(2024)年度の主な成果

